



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月2日

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4828 URL http://www.to-be.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大澤 正典
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務管理本部長 (氏名) 片山 博 (TEL) 03-3510-1600
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,673	7.4	583	125.9	584	127.1	331	109.1
28年3月期第3四半期	9,009	3.4	258	57.0	257	59.0	158	126.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 331百万円(109.1%) 28年3月期第3四半期 158百万円(126.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	55.26	—
28年3月期第3四半期	26.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,259	3,563	56.9
28年3月期	6,185	3,334	53.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,563百万円 28年3月期 3,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
29年3月期	—	8.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.6	700	31.7	690	30.6	400	26.2	66.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	6,000,000株	28年3月期	6,000,000株
29年3月期3Q	534株	28年3月期	534株
29年3月期3Q	5,999,466株	28年3月期3Q	5,999,471株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けています。

情報サービス産業におきましては、顧客の情報化投資姿勢は必ずしも一様ではないものの、情報化投資全体としては堅調に推移することが見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等、顧客の経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高9,636百万円（前年同四半期比3.0%増）、売上高9,673百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益583百万円（前年同四半期比125.9%増）、経常利益584百万円（前年同四半期比127.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は331百万円（前年同四半期比109.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進するとともに、着実なプロジェクトの遂行に努めました。引き続き、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に取り組みました。当セグメントの受注高は6,459百万円（前年同四半期比8.8%増）、売上高は6,293百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

② プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「MCFrame」および「A.S.I.A.」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力強化への取り組みに努めました。当セグメントの受注高は2,951百万円（前年同四半期比7.1%減）、売上高は3,135百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。ライセンス売上高は1,313百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

③ システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は224百万円（前年同四半期比7.4%減）、売上高は243百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産につきましては、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して196百万円減少し、4,055百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は64.8%であります。

また、固定資産につきましては、無形固定資産の取得が有形固定資産及び無形固定資産の減価償却を上回ったことにより、前連結会計年度末と比較して269百万円増加し、2,204百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して73百万円増加し、6,259百万円となりました。

(負債の部)

負債の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して155百万円減少し、2,695百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる増加、剰余金の配当による減少により、前連結会計年度末と比較して229百万円増加し、3,563百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して3.0ポイント増加し56.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は堅調に推移し、13,000百万円（前回業績予想比200百万円増）となる見込みです。利益面につきましては、売上高増加と生産性向上による売上総利益の増加が見込まれることなどから、営業利益700百万円（前回業績予想比100百万円増）、経常利益690百万円（前回業績予想比100百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益400百万円（前回業績予想比50百万円増）となる見込みです。

通期個別業績予想につきましては、連結業績予想と同様の理由により、売上高12,700百万円（前回業績予想比200百万円増）、経常利益640百万円（前回業績予想比80百万円増）、当期純利益370百万円（前回業績予想比40百万円増）となる見込みです。

平成29年3月期 通期業績予想の修正

①連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,800	600	590	350	58.34
今回修正予想 (B)	13,000	700	690	400	66.67
増減額 (B - A)	200	100	100	50	—
増減率 (%)	1.6%	16.7%	16.9%	14.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	12,549	531	528	316	52.82

②個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	560	330	55.00
今回修正予想 (B)	12,700	640	370	61.67
増減額 (B - A)	200	80	40	—
増減率 (%)	1.6%	14.3%	12.1%	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	12,193	487	295	49.17

なお、当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	518,578	864,902
受取手形及び売掛金	2,756,966	2,236,235
仕掛品	329,398	447,937
その他	646,370	506,207
流動資産合計	4,251,314	4,055,283
固定資産		
有形固定資産	131,474	121,865
無形固定資産		
ソフトウェア	1,246,763	1,519,990
その他	26	0
無形固定資産合計	1,246,790	1,519,990
投資その他の資産		
その他	561,855	567,983
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	556,355	562,483
固定資産合計	1,934,620	2,204,339
資産合計	6,185,935	6,259,622
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	300,029	273,232
短期借入金	500,000	600,000
未払法人税等	194,387	170,632
前受金	608,570	535,916
賞与引当金	576,127	209,777
役員賞与引当金	20,000	-
品質保証引当金	25,861	28,719
その他	626,774	877,646
流動負債合計	2,851,750	2,695,924
負債合計	2,851,750	2,695,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	426,200	426,200
利益剰余金	2,210,623	2,440,136
自己株式	△239	△239
株主資本合計	3,334,184	3,563,697
純資産合計	3,334,184	3,563,697
負債純資産合計	6,185,935	6,259,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,009,288	9,673,023
売上原価	6,502,620	6,693,577
売上総利益	2,506,668	2,979,446
販売費及び一般管理費	2,248,260	2,395,747
営業利益	258,407	583,698
営業外収益		
受取配当金	1,993	897
為替差益	-	966
その他	586	885
営業外収益合計	2,579	2,750
営業外費用		
支払利息	3,353	2,264
為替差損	422	-
その他	7	-
営業外費用合計	3,783	2,264
経常利益	257,204	584,184
特別利益		
出資金売却益	14,489	-
特別利益合計	14,489	-
特別損失		
投資有価証券評価損	166	-
固定資産除却損	11	48
特別損失合計	178	48
税金等調整前四半期純利益	271,515	584,135
法人税等	112,954	252,631
四半期純利益	158,560	331,503
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,560	331,503

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	158,560	331,503
四半期包括利益	158,560	331,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,560	331,503
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。